

「道徳の時間」学習指導案

- 1 学年 第3学年1組 37名
- 2 主題名 友を思う心 内容項目 B-友情, 信頼
- 3 教材名 ないた赤おに (出典: 「3年生のどうとく」文溪堂)

4 主題設定の理由

○ 友達関係は、より充実した豊かな生活を送るために大切な要素である。つながりの深い友達関係の中で共に磨き合うことが、自分自身だけでなく友達をも成長させることにつながる。そのためには、一緒に遊んだり学んだりする中で、何が友達のためになるのか、そのために自分に何ができるのかなど、友達の気持ちを考えることが互いの理解を深め、確かな友情に結び付いていく。また、気の合う友達ばかりではなく、どんな友達とも理解し合い、信頼や助け合いの心を育てていく必要がある。

この時期の児童は、友達関係を重要視する傾向がみられるようになる。しかし、自己中心的な面もまだまだみられ、友達のことを考えることができずトラブルが起こることもある。そこで、互いに心を通わせ、支え合い助け合って成長したり、辛いときに心に寄り添ったりすることができる友達関係を築くために、友達のことを考えお互いに分かり合おうとすることが大切であることに気づき、深いつながりのある友達関係を築いていくことができるようにしたいと考え、本主題を設定した。

○ 本学級の児童の実態を把握するため、事前の意識調査を行った。

質問内容	肯定的回答	否定的回答
①あなたに友達はいますか。また、それはどんな人ですか。	100% (37/37)	0% (0/37)
【記述内容より】 ・遊んでくれる人 ・やさしくしてくれる人 ・助けてくれる人 ・声をかけてくれる人 ・いつも一緒にいる人 ・仲のいい人 など		
②あなたに「本当の友達」はいますか。それは、どんな人ですか。	92% (34/37)	8% (3/37)
【記述内容より】 ・遊んでくれる人 ・やさしくしてくれる人 ・助けてくれる人 ・声をかけてくれる人 ・相手やみんなのことを考えている人 など		
③友達のことを考えて、何かしたことはありますか。	81% (30/37)	19% (7/37)
④友達がしてくれたことの中で、「自分のことを考えてしてくれているな」と思ったことはありましたか。	84% (37/37)	16% (6/37)

アンケートの結果から、本学級の児童の「友情, 信頼」についての実態を次のように分析した。

- ・すべての児童が「自分には友達がいる」と感じている。主な記述内容からは、「自分に利益をもたらしてくれる人」が友達という認識が強いことが分かった。また「本当の友達」についても、「自分に利益をもたらしてくれる人」という認識にとどまっているこ

とが考えられる。そこで、友達とは自分に利益をもたらすだけでなく、「どうすることが友達のためになるか」や、「友達の気持ちを考えると自分にできることは何か」ということを互いに思い合う、相手のことを考える友情について、道徳的価値を深めていくことが必要である。

- ・友達にしたことについても、友達からされたことについても、「相手や自分のことを考えてくれている」と感じている児童は多い。しかし、それを価値の高いものであると気付いている児童は少ないことが質問①②から分かる。そこで、これまでの自分たちの行動が価値あるものであるものと気づかせていきたい。

- 指導に当たって、導入では、児童への事前アンケートの結果を提示することで、児童の友情の価値観についての現状を確認し、教材への方向づけを行う。

基本発問ではまず、人間と仲良くしたい思いを青おにに相談するも、青おにの提案内容に戸惑う赤おにの気持ちを考えさせる。次に、人間たちと仲良くできるようになった赤おにの思いを考えさせる。

中心発問では、青おにの残した手紙を何度も何度も読む赤おにが、どのようなことを考えていたのかを考えさせる。青おにに対する赤おにの感謝の気持ちや、相手のことを十分に考えることができなかつた後悔の念に気づかせていきたい。また、「同じ友達でも、青おには人間とでは何が違うのだろうか。」を補助発問として用意し、青おにには、人間にはなかつた赤おにの思いを考えて行動しようとする気持ちがあったことに気づかせていく。そして、相手のことを考えて行動していこうという思いをもてるようにしていきたい。

終末では、本時で深めた道徳的価値の自覚について個人で振り返りを行った後、全体での交流を行う。また、友達のことを考え、それを行動に移した児童の話を紹介する。それによって本当の友達についての新たな気付きや発見をあたためていきたい。

5 他教科等との関連

福山 100NEN 教育における本校の【21世紀型“スキル&倫理観”】においては、中学年の目標である「自分の意見を押し通すのではなく、相手を受け入れながら活動できる子」（他者への思いやり）及び「自分の考えを分かりやすく伝えられる子」「相手の考えを素直に認められる子」（コミュニケーション能力）に関連している。

また、この内容項目は、各教科での学習や常時活動など、学校生活全体にわたって関連がみられる。教科学習では、協働的な学習の場を設け、互いに助け合いながら課題に取り組んできた。また、日常生活の中では、困っている友達に対して、その友達のことを考えて行動することができた児童を取り上げ、そのことを学級全体に広げてきた。今後はさらに友達関係が広がったり深まったりするように、児童が様々な友達と互いに関わっていく場面を仕組んでいく。そして一人一人が友達のことを理解し合いながら、互いに信頼し、助け合っていくことの実感が持てるような指導を行っていきたい。

6 ねらい

友達とは、相手の目線になってどうすればよいか考え、互いに分かり合おうとすることが大切であることを理解し、友達と互いに理解し、助け合おうとする態度を養う。

7 準備物 場面絵 短冊 ワークシート 座席表

8 学習過程

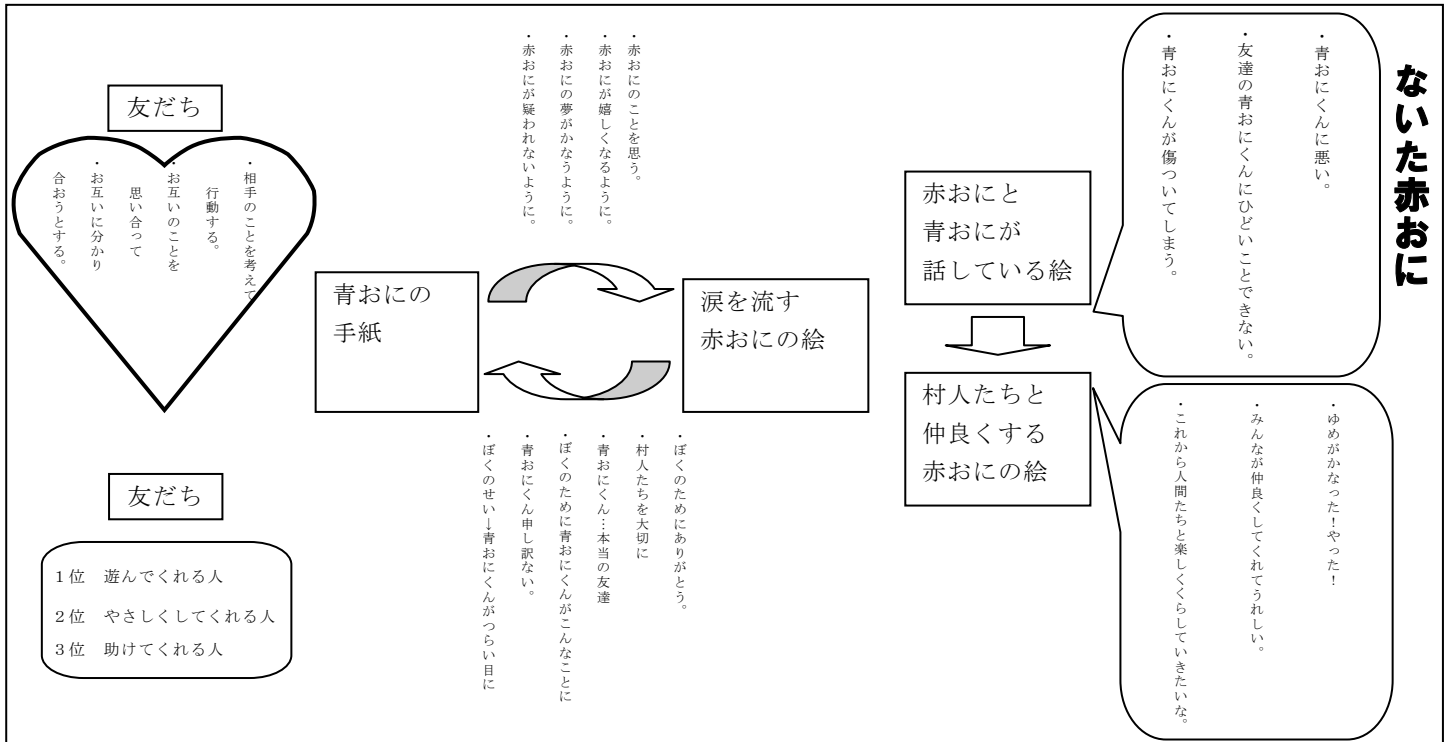
	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)
導入	1 本時の内容についての課題意識を持たせる。	<p>「友だち」とはどんな人でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1位…遊んでくれる人 ・ 2位…やさしくしてくれる人 ・ 3位…助けてくれる人 	○本時の学習の課題意識を持たせるために、事前に実施したアンケートの結果を提示する。
展開	2 教材「泣いた赤おに」の前段を聞き、話し合う。	<p>考えこんでしまった赤おには、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼかぼか殴るなんて、青おにくんに悪い。 ・ 友達の青おにくんにそんなひどいことできるわけない。 ・ もしかしたら人間と仲良くできるかもしれないが、それでは青おにくんが傷ついてしまう。 <p>人間の友だち仲間ができた赤おには、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夢がかなった！やった！ ・ みんなが仲良くしてくれてうれしい。 ・ これから人間たちと楽しく暮らしていきたいな。 	○青おにに対して申し訳ない赤おにの思いに共感させる。
	3 教材後段を聞き、赤おにの気持ちを考える。	<p>青おにの手紙を二度も三度も読んで涙を流す赤おには、どんなことを考えていたでしょう。</p> <p>< A : 感謝 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくのためにあばれてくれてありがとう。君のおかげで人間たちと仲良くなった。 ・ 村人たちを大切にしていこう。青おにくんがせっかく仲良くさせてくれた。 ・ 青おにくんは本当の友達だなあ。ぼくの夢をかなえてくれた。 <p>< B : 後悔 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼくのために青おにくんが辛い思いをしてしまうなんて。謝りたい。 ・ ぼくのせいで青おにくんが遠くへ行ってしまって悲しい。 ・ 青おにくんこそ、本当の友だち。 <p>同じ友達でも、青おには人間とでは何が違うのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤おにのことを思っている。 ・ 赤おにが嬉しくなるようにしている。 ・ 赤おにの夢がかなうように考えている。 ・ 赤おにが人間と友達になった後も疑われないように考えている。 	○ワークシートに書かせることにより、赤おにの気持ちをじっくりと考えさせる。 ○座席表で見取り、意図的指名に生かす。

このとき、青おにはどんな気持ちで話をしていたでしょう。

★友情とは、お互いに相手の目線になってどうすればよいか考え、行動することを理解し、友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする思いをもつことができたか。

	<p>友だちについて、新たに発見したこと、気づいたことは何ですか。</p>	<p>相手のことを考えて行動するのが友達。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの気持ちを思い合うのが友達。 ・お互いに分かり合おうとするのが友達。 	
終末	<p>4 本時のふり返しをする。</p> <p>5 振り返りを交流する。</p>		<p>○本時の道徳的価値について自分の考えをまとめさせるために、ワークシートを活用する。</p>

9 板書計画



10 ワークシート

★今日のじゆぎようで新しく発見したこと、「なるほど」と思ったことなどを書きましょう。

自分の考えをもつことができた。

4 3 2 1

今日のじゆぎようで新しい発見があった。

4 3 2 1

友達の考えを聞いて、「なるほど」と思った。

4 3 2 1

ないた赤おに

氏名

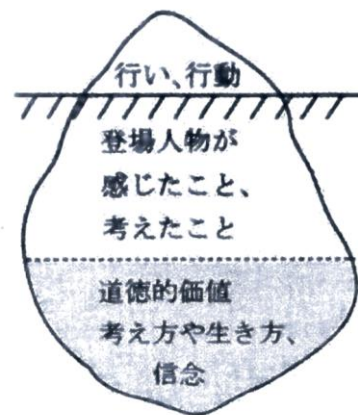
青おにの手紙を読んでなみだを流す赤おには、どんな気持ちだったでしょう。

涙を流す 赤おにの絵

(3) 年 (1) 組

内容項目 B-友情, 信頼

教材名 ないた赤おに



【道徳的価値の自覚を深める指導にするために】

行い 行動	赤おにが青おにの手紙を何度も読んで涙を流した。
登場人物が 感じたこと 考えたこと	<ul style="list-style-type: none">・ぼくのためにしてくれてありがとう。君のおかげで人間たちと仲良くなれた。・村人たちを大切にしていこう。青おにくんがせっかく仲良くさせてくれた。・青おにくんは本当の友達だなあ。ぼくの夢をかなえてくれた。 <p>考えたこと</p> <ul style="list-style-type: none">・ぼくのために青おにくんが辛い思いをしてしまうなんて。謝りたい。・ぼくのせいで青おにくんが遠くへ行ってしまっていて悲しい。・青おにくんこそ、本当の友だち。
道徳的価値 考え方 生き方 信念	<ul style="list-style-type: none">・友達とは、相手のことを考える関係だ。・お互いの気持ちを思い合うのが友情だ。・お互いに分かり合おうとするのが本当の友達だ。